

能を楽しま

能楽師 観世流シテ方 梅若研能会所属
重要無形文化財保持者（総合認定）

講師 加藤真悟 先生



2025年 11月22日(土)

午後2時開演
(午後1時30分開場)

宝生能楽堂

東京都文京区本郷1丁目5-9
(JR水道橋駅東口より徒歩3分)

〈プログラム〉

ご挨拶

お 話 一若手に送る言葉一

仕 舞 虎送

仕 舞 伏木曾我

復 曲 能 和田酒盛

アフタートーク 一若手演者と同人による一

主催：一般社団法人 復曲能を観る会

録音：一猛芳虎『武者かゝ美一人相合 兩伝二(武者鑑)』(国立国会図書館デジタルコレクション) 題字：書家 増岡波瀾 宣伝美術：のこのこでざん

能楽師自ら講師として能の基礎知識や演目の見所など、画像を見ながらわかりやすく解説。毎回演目が変わるのでどなたでも楽しめます。能楽鑑賞二回分チケットつき。大変おすすすめです。

講義：9月30日・10月7日・10月28日・11月11日

全て火曜日 ※10月28日は装束体験

会場：南センター 10時～11時30分 ※午前に変更されました

鑑賞会：10月12日(日) 12時30分～ 能「敦盛」
狂言「布施無経」

鑑賞会は現地集合・現地解散

国立能楽堂 最寄り駅：「千駄ヶ谷駅」「国立競技場駅」「北参道駅」

11月22日(土) 14時～ 能「和田酒盛」

宝生能楽堂 最寄り駅：「水道橋駅」



加藤 真悟 (かとう しんご) 先生

昭和三十三年生。故二世梅若万三郎及び三世梅若万三郎に師事。観世流準職分。日本能楽会会員(重要無形文化財総合認定保持者。昭和六十二年能楽養成会教授。平成二十五年新作能「復曲能」(梅若万三郎監修、小林保治作)、「将門」(梅若万三郎監修、小林保治作)、「復曲能二」(十六年「真田」)、二十八年「伏木曾我」、三十一年「虎送」、令和三年「和田酒盛」、令和四年「不達森」、新作能「新皇将門」(共に梅若万三郎監修)の制作に携わり初演のシテを勤める。平成十一年より毎年自主公演「明之會」を開催する。「真識会」を主宰して愛好者に謡仕舞の指導をしている。主な披曲「木賊」「鷲」「卒都婆小町」「三輪白式神楽」「恋重荷」「望月」「安宅」「碓」「求塚」「道成寺 赤頭」「石橋」「乱」等。(公社)梅若研能会理事、(一社)復曲能を観る会代表理事。(公社)能楽協会東京支部著作権関連委員。



「卒塔婆小町」より

【対象・定員】成人・先着24名

【費用】9,000円

(2回の鑑賞代金含む)

【申込】8月11日(月・祝)9時～

直接南センターへ

電話申し込みは同日14時～

南センター

045-741-8812

南区南太田2-32-1

